



前回の休校中の課題を出してから2週間がたちました。美術の教科書は観てくれたでしょうか？図画工作から美術へ。教科書を見て感じたこと、思ったことはありましたか？図画工作から美術へと教科の名前は変わりましたが、実はやることはあまり変わりません。ただ、皆さんが成長したぶん、美術では、自分の表現したいことを作品にするために、技法や画材、素材の使い方、作家や作品などについてさらに詳しく学びます。あとは学んだことを生かして制作、鑑賞するのみ。さてどんな作品に出会えるのか、今からとても楽しみです。

☆ まずはじめの課題では、皆さんの身近な人にメッセージを伝えるデザインについて学びます。

## 私の気持ちをカードに込めて

美術1 教科書 p42～43、p36～37

p40～41

皆さんは今、家でどんなふうに過ごしていますか？休校の期間が長く続くにつれて、当たり前前の生活がなくなるってこんなにも大変なことなんだなということを改めて感じているのではないのでしょうか。今、世界中の人々が辛い日々を過ごしていると思います。皆さんと皆さんの大切なひとたちが皆、元気でいられますように。この苦しい時期が、大切な人を想う時間と、再び会う時の喜びとなりますように。STAY HOME で一緒に乗り越えていきましょう。

そこで、今、時間があるこの機会に、大切な人への感謝と思いやりの気持ちをこめて、身近な人へのカードをデザインしてほしいと思い、この課題を家庭学習にします。

### 制作するポイント

自分の伝えたい気持ちだけでなく、伝えられた相手の気持ちも考えて、どんな形や色、素材や表現方法がいいのかを考えて、工夫して制作してほしいと思います。アイデアを考えていくなかで様々な表現方法を見るなどして、コミュニケーションの手段としての美術についても学んでほしいです。また、学びのねらいについては教科書p42に書いてあります。これをもとに評価したいと思います。

### 制作する内容

家にある素材を使って教科書p40～43、36、37を参考に、身近な人にメッセージを伝えるカードを作ってみましょう。

また、作品のアイデアを考える時は、様々なものを参考にするのはいいのですが、まるっきり同じ、まねをただけの作品にならないように自分で創作したオリジナル作品になるようにしてください。

カードのメッセージについては、「ありがとう」という言葉を入れたものにし、文字は教科書p36～37を参考にデザインしてください。

## 制作の条件、提出方法

素材や画材、材料については家にあるどんなものを使っても構いませんが、もらった相手が喜ぶもの、カードとして贈ることができるもの、提出できる大きさ（A4 以内）、素材のもの、授業が始まってから、皆で鑑賞や展示をすることができるものにして下さい。

作品のアイデアを考える時に使う、A4 くらいの紙を用意して、アイデアスケッチを描いて下さい。枚数が多くなる場合は、まとめてホチキスなどでとめておくこと。

作品（カード）とアイデアスケッチ、感想用紙の提出については初めの授業を予定しています。学年・クラス・出席番号・氏名を、作品（カード）は裏側、アイデアスケッチ、感想用紙は右上に記入して下さい。

## 制作手順（6 時間） ☆毎週の美術の時間割にあわせて 1 時間ずつ進めて下さい。

1 時間目：気持ちを伝えるメッセージカードや日常生活でメッセージを伝えるデザインについて、教科書や家にあるもの、インターネットや本、TV など、家にあるあらゆるものを参考に調べる。参考になるアイデアを A4 の紙にメモしておくことよい。（関心意欲・発想・構想・鑑賞）

2・3 時間目：カードを渡したい相手や、伝える内容を決める。自分の表現したいものに合う文字や素材、色、デザインを考える。小学校で学んだことなども生かしながら、A4 くらいの紙にアイデアスケッチを描く。※ありがたい言葉をデザインした文字をいれること（関心意欲・発想・構想）

アイデアスケッチとは、自分の頭のなかにある、こう作りたいというものを人に説明できるように、絵や言葉で紙に描いたものです。色をつけられる場合はつけた方がよりわかりやすいです。

4・5 時間目：材料や用具を準備し、伝える内容に合った形や色彩、素材を使ったカードになるよう工夫して制作する。（関心意欲・技能）

6 時間目：完成した自分の作品のよさや工夫した点などを A4 の用紙にまとめる。（関心意欲・鑑賞）

さらに学びたい！という人については、これから 1 年生で学んでおきたい技法や色のしくみが、教科書 p 52～59 に載っているので、参考にして下さい。

また、E テレで放送されている NHK 高校講座の美術 I でも、色や文字についてなど、これから授業で学ぶことが出ているので、インターネットやテレビで見ることができる場合は参考にしてみるといいですよ。

それから作品（カード）について、1 つは提出してもらいますが、もっと作りたい、実際に作ったものを相手に贈りたいという場合はどんどん制作してみてください。そして作ってみて、贈ってみての感想も教えてください。それでは、素敵な作品に出会えるのを楽しみにしています！

